

ながい
長井
ふるさとガイド

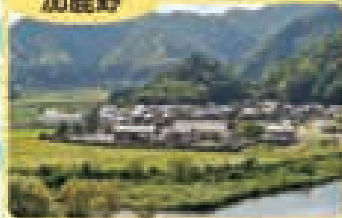
小原



守柄



加鹿野



ながいガイドマップ

Guide Map

わたしたちのふるさと長井にはたくさんの「たからもの」があります。わたしたちもその「たからもの」をたくさん見つけて未来へ引き継いでいきましょう。



- 凡例**
- 黄色の道…広い道
(国・県道など)
 - 白色の道…少し狭い道
(県・町道など)
 - 灰色の道…細い道
(林道・登山道など)

ながいガイドマップ

Guide Map

守柄・加鹿野・三谷・大谷



松尾神社 (大谷)



釣鐘尾城址 (加鹿野)

三川山への道しるべ

池野奥たたら跡

大谷川

大谷

松尾神社 (神聖)

漢師如来と仏像二尊
寺山古墳

岡田古墳

法興寺

三柱神社

子安地蔵

万灯の火祭り

絨泉の井戸

四国八十八か所札所

釣鐘尾城址

八幡神社

六地藏尊

薬師堂

観音堂

守柄川

守柄

守柄口の石碑

いとば

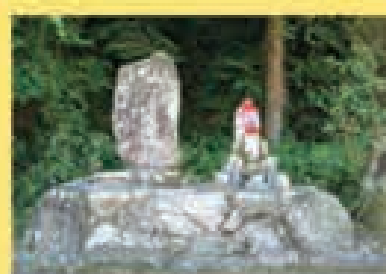
八坂神社
椎の太木

加鹿野

トヨの水

路傍の地蔵さん

薬師尊像



守柄口の石碑 (守柄)



子安地蔵 (三谷)

矢田川

三谷

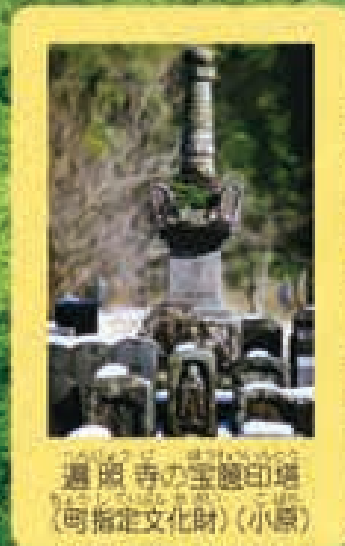
ながいガイドマップ

Guide Map

大野・小原



大野城址 (大野)



遍照寺の宝篋印塔 (町指定文化財) (小原)

鎌足神社

薄志庵寺跡

薄志庵寺池

こほら 小原

栢橋神社

遍照寺
本堂 (大徳殿)
大講堂
鐘楼堂
宝篋印塔

碓氷 (いそぎ) 碓氷地蔵

こほら川 小原川

幸谷川

銀谷の大木

三柱神社

大野

大野城址

殿様の足洗い石

浅井の地蔵

浅井の地蔵 (旧奥平十次郎殿御影掛り) (郷土史)



浅井の地蔵 (大野)

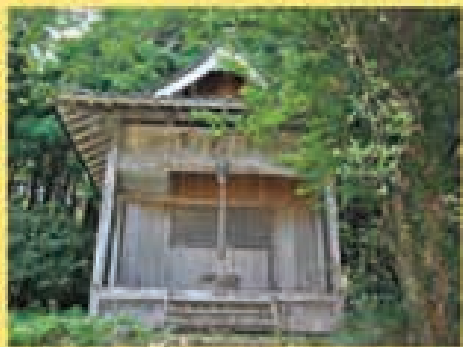
矢田川レインボー

矢田川

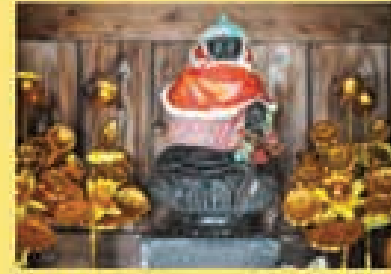
長井小学校・幼稚園
長井地区公民館

ながいガイドマップ
Guide Map

中野・藤・八原



薬師堂 (藤)



お地蔵さん (八原)



タモの大木と石碑 (中野)

森山たたら跡

小手子の森

稲荷神社

南住遺跡

三柱神社

おくろじ

家の奥谷川

八原

お地蔵さん

三柱神社

薬師堂

藤遺跡

藤

タモの大木

地蔵尊

三柱神社

丹

ムラナカ古墳

中野

ユマチ遺跡

矢田川

アセビ川

幸谷遺跡

幸谷川

山梨

夫カツラ



ふるさとを歌う 長井郷土歌

作詞 原 孝
作曲 弘田 龍太郎

私たちのふるさと長井地区には個性豊かな村々を歌った長井郷土歌があります。この歌が作られた頃を想像しながら歌われた場所をめくり、歌い継いでいきましょう。



1 さても楽しき わが郷土は
矢田の川辺に うち泊いて
景色はうつる 山川の
四季の眺めの うるわしさ



2 守柄の奥に そびえたる
五輪の山の 朝ぼらけ
ふもとは霞 たなびきて
高嶺は燃ゆる 雲の色



3 八坂の森を うちめぐる
清き湧瀬に きらめきて
鮎の香高き 加鹿野を
過ぐればそこは 三谷なり



4 右てに仰ぐ 宮山の
高き梢に 陽がさして
宮居の奥の 静けさよ
御典かしこき 法典寺



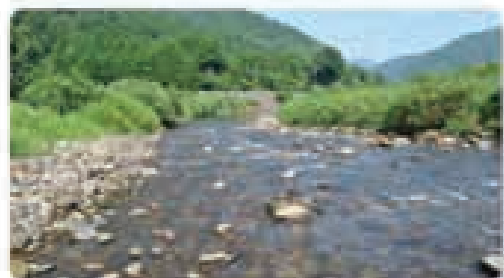
5 大谷川の 山深く
初夏そよく 青嵐
続く山路の はるばると
越ゆればやがて 三川山



6 玉芝生うる 大野原
川辺へだてて ほど近く
阿瀬の頂 夕焼けて
面影しのぶ 城の跡



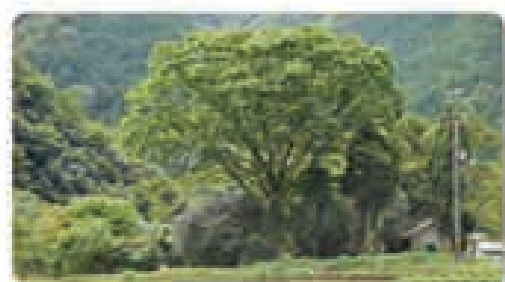
7 手向けのぬさと 椋橋の
神社の庭の 老杉の色
翫づくほどに 日は落ちて
鐘の音淋し 遍照寺



8 吹く風薫る 水の上
阿瀬野の川の さらさらと
河鹿の声の 細りゆく
中野の里は 遠からず



9 川の彼方に 見はるかす
木の岡隠れの 藤の里
四月八日の ご縁日
お詣り賑わう 薬師尊



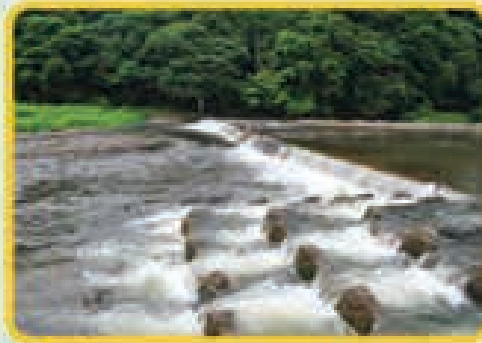
10 八原の奥の 森陰は
貞女小手子の 詞あり
今も伝うる 世語りは
操の鑑 とこしえに



11 さても楽しき わが郷土よ
神の守りの はにやすに
生れし幸を あじわいて
教えの道に 進みなむ

ふるさと 矢田川マップ

長井地区は香美町の中心を流れる矢田川の中流域にあたります。長い長い間、私たちの祖先は矢田川と共に過ごし、遊び、学び、親んできました。私たちも矢田川をもっと知り、多くのことを学びましょう。



天野堰



天野堰
今は流れが変わって水はありませんが、昔は深い淵がありました。



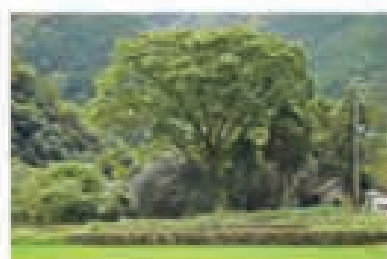
龍居堤

.....堰防を表しています

長井の歴史

貞女小手子の物語

八原地区上辺に、小手子の森があります。ここは貞観(859~877)の頃、日置部小手子が居住していたと伝えられています。「女性の鑑」と称賛された人で、1870年出石藩女学校の祭神に加えられました。



小手子の森

長井の山城 大野城、釣鐘尾城

釣鐘尾城

加鹿野の釣鐘尾城は、標高60メートルの山頂に3,000㎡の平坦地がある町内最大規模の城址です。平坦地は2段になっており、1段高い場所には釣鐘がおかれていたといわれています。香住の志馬比城、一日市の塔の尾城と一直線にならんでおり互いに勢力をあわせていました。



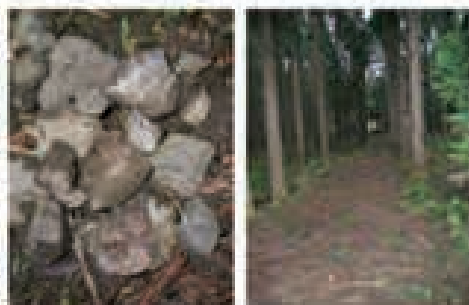
大野城址のふもと

大野城

大野にある大野城は、標高70メートルの頂に1,000㎡の平坦地があり、周囲を堀切、曲輪で防衛しています。山麓には風呂屋の谷、殿屋敷、蒸殿などの地名が残っており、城主の住まいがあったことが想像できます。

長井の釜山

大谷、八原、守柄の山の中でずっしりと重い鉄のような塊が落ちていることがあります。これは「鉄滓」と呼ばれるもので、鉄を作る際にできた不純物の塊です。「鉄滓」が落ちているということは、この近くで製鉄をおこなっていたということがわかります。この製鉄を得る方法を「たたら」と呼び、原料の砂鉄を木炭で熱して不純物を取り除く際にできるのがこの「鉄滓」です。



池野奥たたらあと

時代	主な出来事
古代	じいがかま・ばあがかま古墳(守柄)、南住遺跡(八原)、藤遺跡(藤)
中世	大野城(大野)・釣鐘尾城(加鹿野)築城
近世	1603 徳川家康が江戸幕府を開く 守柄・加鹿野・三谷・大谷・大野は豊岡藩、小原・中野・藤・八原・久斗山は出石藩
	1678 中野・大野で境界論争 1700年頃 遍照寺(鐘樓堂 本堂 太師堂)建立
近代	1867 明治維新
	1874 豊岡県美含郡第三番学区小原小学校開校
	1887 兵庫県美含郡第七番区小原簡易小学校と改称
	1888 長井村立長井尋常小学校と改称 久斗山村に西長井尋常小学校開校
	1895 小学校校舎を大野村浅井に移転
	1897 高等小学校併置認可により長井尋常高等小学校と改称
	1908 久斗山分離により九ヶ村となる
	1941 長井村立長井国民学校と改称。尋常科を初等科とする。太平洋戦争開戦
	1945 太平洋戦争終戦
	1947 新村制により長井村立長井小学校と改称、長井村立長井中学校開校
	1955 香住町と長井村との町村合併により香住町立長井小学校と改称
	1956 長井中学校が香住第一中学校に統合される
	1957 校区改変により、守柄・加鹿野地区の児童20名が、香住小学校へ転出する
	長井診療所開設
	1960 長井診療所閉止
	1964 藤地区 薬師橋(鉄骨製つり橋)完成
	1969 長井簡易水道供用開始
	1976 長井小学校校舎竣工
	1979 長井地区公民館建設
	1985 藤地区 新薬師橋(コンクリート製)完成
1988 大谷橋を新橋に架け替え	
1990 台風19号により大野橋損壊(92年に新橋完成)	
1994 広域ごみ処理施設「矢田川レインボー」完成	
1995 大谷に町営住宅4戸建設	
1997 長井北集舎処理施設(下水道)供用開始	
1998 長井南集舎処理施設(下水道)供用開始	
2000 林道 池ヶ平線(小原・浜坂久斗山間)開通 「かすみ・矢田川温泉」営業開始	
2005 香住町が村岡町・美方町と合併して香美町となる	



藤の旧薬師橋

八原



藤



中野



大野



大谷



三谷



学校名

学年

年 名前

2010年11月発行

編者：長井ふるさとカード編集委員会

発行：群馬県教育委員会、学校支援地域連携推進実行委員会、吾妻ふるさと長岡沼田プロジェクト委員会